

JENESYS^{2.0}

【中学生韓国派遣事業】

平成 27 年 10 月 4 日～10 月 11 日

使節団派遣実施報告書

平成 27 年 12 月 4 日



一般社団法人国際フレンドシップ協会

ソウル・津寛中学校訪問・ホームステイ



10月10日 ホスト生徒と終日過ごす

校舎正面と校庭

交流・日本文化紹介・韓国文化紹介



あちらこちらで交流の輪



茶道, 合唱, 折紙, 合気道, 空手,
けん玉, そろばん, 盆踊り



↑ 韓国生徒のギターと
← K-POP ダンス

10月4日、事前研修、結団式



10月5日、ソウル到着



漢江のほとりで合唱練習



ソウル中心街

韓国学中央研究院訪問



国際交流基金ソウル日本文化センター訪問



韓国で活躍する日本人との懇談会

水源地域、KBSドラマセンター訪問



韓国食文化



解団式(羽田空港)



も く じ

口絵 (1)~(2)

まえがき

I. JENESYS ^{2.0} 「中学生韓国派遣事業」について.....	2
II. 韓国訪問団日程.....	3
III. 団員名簿.....	4
IV. 活動の記録.....	6
・ 10月4日 結団式、事前研修 五十嵐 亜子	6
・ 10月5日 羽田空港出発、韓国到着、市内見学 石塚 慧人	6
・ 10月6日 ソウル郊外中学校訪問・交流、日本文化紹介、 ホストファミリーと対面、ホームステイ開始 岡村 将希 福原 史慧有 川澤 こころ 木南 奈々 木村 蓮杏	7
・ 10月7日 韓国学中央研究院、大学院、 国際交流基金ソウル日本文化センター訪問、 現地で活躍する日本人との懇談 窪田 百合香 アマリア 熊谷 流気 小森 彩香	9
・ 10月8日 華城・水原地域・KBS ドラマセンター見学、 市内見学 篠原 朱里 清水 夏希	10
・ 10月9日 市内見学（歴史、文化） 田中 愛恵	11
・ 10月10日 ホスト生徒とともにロッテワールド・民俗博物館見学、 ホストファミリーとのお別れ会、反省会 田中 陽 松山 優月 ベスト 海	11
・ 10月11日 韓国発、羽田空港到着、解団式 山口 惇己 山崎 彩香	13

V. 感想文		15
・ 中学生交流プログラムに参加して	五十嵐 亜子	15
・ 中学生交流プログラムに参加して	石塚 慧人	15
・ 中学生交流プログラムに参加して	岡村 将希	16
・ 中学生交流プログラムに参加して	川澤 こころ	16
・ 中学生交流プログラムに参加して	木南 奈々	17
・ 中学生交流プログラムに参加して	木村 蓮杏	17
・ 中学生交流プログラムに参加して	窪田 百合香 アマリア	18
・ 中学生交流プログラムに参加して	熊谷 流気	19
・ 韓国研修に参加して	小森 彩香	19
・ 韓国に行って思ったこと	篠原 朱里	20
・ 中学生交流プログラムに参加して	清水 夏希	21
・ 中学生交流プログラムに参加して	田中 愛恵	21
・ 中学生交流プログラムに参加して	田中 陽	22
・ 中学生交流プログラムに参加して	福原 史慧有	22
・ 韓国で経験したこと	ベスト 海	23
・ 中学生交流プログラムに参加して	松山 優月	23
・ 韓国で一週間を過ごして	山口 惇己	24
・ 中学生交流プログラムに参加して	山崎 彩香	24

奥付

まえがき

JENESYS^{2.0}「中学生韓国派遣事業」は、2013年1月18日に安倍総理が発表した、2007年より実施している交流事業（JENESYS）の後継事業の一環として、今年度の公益財団法人日韓文化交流基金公募により、当一般社団法人国際フレンドシップ協会が企画・実施運営しました。2015年6月に派遣団員の募集を開始し、日本全国からの応募者から書類審査と面接審査を経て、8月に派遣団員18名が決定しました。

本交流プログラムは海外研修と位置づけられ、出発前日に集合し1泊2日の事前研修と7日間の現地研修から成ります。本小冊子では、参加団員が研修の一環で分担した曜日ごとの報告と全体の感想文を取りまとめ、記録とします。

参加団員には、本記録により、訪問先で出会った韓国の人々や温かく迎え入れてくれたソウル郊外の中学校、そしてホストファミリーの皆さんに改めて感謝の気持ちを感じ、その折に各自が考え、誓ったことをもう一度、心によみがえらせてほしいと思います。さらに、18名の団員それぞれが何を思い、感じていたことを慮る機会になれば幸いです。

Web等を通じて本小冊子をご覧になられた皆様におかれては、韓国、そして韓国の人々を身近に感じ、ご自身の回りで韓国との接点を増やすきっかけになり、さらには国際交流に対する考えや思いがふくらみますよう、スタッフ一同、心より願っております。

2015年12月

一般社団法人国際フレンドシップ協会

I. JENESYS^{2.0}「中学生韓国派遣事業」について

一般社団法人国際フレンドシップ協会（IFA）では、30年間、「ジュニア大使友情使節団」（小学5年生から20歳未満の学生）の海外派遣を訪問先公的機関の後援で行っており、その経験により、中学生をはじめ青少年の交流プログラムの企画・実施運営を行っています。IFAはまた、23加盟国・地域から成る、アジア・太平洋国会議員連合（APPU; ASIAN-PACIFIC PARLIAMENTARIANS' UNION）中央事務局の運営を行っており、日本とアジア・太平洋地区の友好、交流の促進のために活動しています。

JENESYS^{2.0}は、2013年1月18日に安倍総理が発表した、2007年より実施している交流事業（JENESYS）の後継で、アジア大洋州諸国との間で青少年交流事業をするものです。この事業の中で、公益財団法人日韓文化交流基金では、今年、日韓国交正常化50周年にあたり、外務省からの委託を受け、韓国との交流事業を推進しています。

本事業は、日韓両国の市民レベルの文化交流を促進し、相互理解と信頼関係を築くことを目的とし、将来の日本と韓国の、あらゆる分野における架け橋として活躍することが期待される、日本の中学生を選抜し、韓国に派遣します。韓国ソウルでは、中学校体験入学やホームステイ、韓国で活躍する日本人との交流を通して韓国事情を学びながら韓国理解を深めるとともに、日本企業や日本人の活躍も学びます。また、韓国滞在中は、できるだけ韓国市民の普段の生活に触れる機会を設け、韓国の社会や文化とともに韓国の人々を理解することをめざします。

■関係機関

企画・実施運営	一般社団法人国際フレンドシップ協会
JENESYS ^{2.0} 事業元	外務省／公益財団法人日韓文化交流基金
協力	公益財団法人国際文化フォーラム
受入	韓国ソウル市津寛中学校

■実施期間

平成27年10月4日（日）前泊（事前研修）
平成27年10月5日（月）～11日（日）韓国研修、全7泊8日

■団員

18名、日本の中学生（全国公募、書類・面接審査を経て決定）

Ⅱ. 韓国訪問日程

	月日	都市	時間		内容	宿泊
1	10/4 日	東京	13:30		集合、結団式 事前研修（韓国事情、国際マナーとエチケット、渡航安全対策、日本文化紹介等）	ホテル泊
2	10/5 月	東京 ソウル	午前 午後	航空機 専用バス 徒歩	羽田空港発 金浦空港着後、市内見学（明洞ほか） ホテル着後、夕食へ	ホテル泊
3	10/6 火	ソウル郊外 恩平	終日 夕刻	専用バス 徒歩等	津寛中学校訪問・交流 （施設見学、授業見学、日本文化紹介、生徒との交流ほか） ホストファミリー宅へ	ホームステイ
4	10/7 水	ソウル郊外 恩平 城南 ソウル	午前 午後 夕刻	 専用バス	ホスト生徒とともに津寛中学校へ （以下団員のみで見学） 韓国学中央研究院、大学院訪問 （施設見学、文化講義ほか） 国際交流基金ソウル日本文化センター訪問、施設見学 韓国で活躍する日本人との懇談	ホテル泊
5	10/8 木	ソウル郊外 水原 ソウル	午前 午後	専用バス	移動（ソウル→水原） 見学（華城、水原地域散策、 KBS ドラマセンター） 移動（水原→ソウル） 市内見学（北村韓屋ほか）	ホテル泊
6	10/9 金	ソウル	終日	専用バス	市内見学（ソウルタワー、景福宮、仁寺洞ほか）	ホテル泊
7	10/10 土	ソウル ソウル郊外恩平 ソウル	終日 夕刻	専用バス	ホスト生徒とともに、ロッテワールド、民俗博物館等見学 ホストファミリーとのお別れ会 反省会	ホテル泊
8	10/11 日	ソウル 東京	午前 午後 16:00	 航空機	ホテル発、金浦空港へ 金浦空港発 羽田空港着後、空港内ホテル会議室にて解団式 解散	解団式会場： 羽田空港

Ⅲ. 団員名簿

NO	氏名	男女	都道府県	学校名	学年
1	五十嵐 亜子	女	新潟県	新潟大学教育学部 附属長岡中学校	1年
2	石塚 慧人	男	東京都	早稻田中学校	3年
3	岡村 将希	男	静岡県	加藤学園暁秀中学校	3年
4	川澤 ころろ	女	東京都	荒川区立原中学校	3年
5	木南 奈々	女	埼玉県	浦和ルーテル学院中学校	3年
6	木村 蓮杏	女	東京都	東村山市立東村山第四中学校	2年
7	窪田 百合香 アマリア	女	静岡県	加藤学園暁秀中学校	3年
8	熊谷 流気	男	東京都	荒川区立原中学校	1年
9	小森 彩香	女	神奈川県	香蘭女学校中等科	3年
10	篠原 朱里	女	山梨県	山梨学院大学附属中学校	3年
11	清水 夏希	男	千葉県	清真学園中学校	2年

12	田中 愛恵	女	東京都	東京都立白鷗高等学校 附属中学校	1年
13	田中 陽	女	神奈川県	カリタス女子中学高等学校	3年
14	福原 史慧有	女	神奈川県	カリタス女子中学高等学校	3年
15	ベスト 海	男	東京都	練馬区立大泉第二中学校	2年
16	松山 優月	女	北海道	双葉中学校	1年
17	山口 惇己	男	東京都	目黒区立目黒中央中学校	3年
18	山崎 彩香	女	神奈川県	カリタス女子中学高等学校	3年
19	団長 山本 伸	男		一般社団法人国際フレンドシップ 協会講師	
20	引率者 西木 春文	女		一般社団法人国際フレンドシップ 協会職員	

IV. 活動の記録

◆2015年10月4日（日）【晴れ】 結団式、事前研修

今日は初めて交流プログラムに参加する団員に会いました。初めは緊張して
いてみんなと話すことができませんでした。夕食の時にテーブルマナーのこと
について学びました。ナイフやフォークなどの使い方を知り、韓国で生かして
いきたいとおもいました。食べている時など先輩方が話しかけてくださり、す
ぐに仲良くなることができ、さらに1週間が楽しみにになりました。

事前研修では、文化紹介の練習や韓国語などを勉強しました。文化紹介では、
空手、合気道、茶道、おり紙、そろばん、東京音頭、歌などを韓国の中学生に
紹介します。東京音頭はやったことがなく初めてでしたが踊ることができまし
た。この文化紹介で韓国の中学生に日本のことに興味を持ってもらえたらうれ
しいです。韓国語の勉強では、日常から使う大切なことを学べる時間でした。
特に印象に残ったのは、水をください、という意味の「ムルジュセヨ」という
言葉でした。知らなかったことや覚えることが多く大変でしたが団員みんなで
「頑張ろう」と強く思える一日でした。

(五十嵐 亜子)

◆2015年10月5日（火）【晴れ】 羽田空港出発、韓国到着、市内見学

今日は、6:30前に空港の羽田エクセルホテル東急を出発しました。その後、
JAL91便に乗り、ソウルの金浦空港に着きました。そこでガイドさんに会い、
市内観光へ向かいました。

その途中、焼肉店で石焼きビビンバを食べました。肉や野菜がたくさん入っ
ていてとてもボリュームがありましたが、とてもおいしかったです。

その後バスから国会議事堂などの名所をながめながら漢江の沿岸へ行き、昨
日練習した「ふるさと」と「カエルの歌」を歌いました。とてもキレイに合っ
たので明日がとても楽しみにになりました。最後にホテルへ戻りました。ホテル
はとても過ごしやすそうだったので一週間楽しみです。その後夕食を食べまし
た。キムチはとても辛かったけどおいしかったです。これからの食事もおいし
く食べたいと思います。

(石塚 慧人)

◆2015年10月6日(火)【晴れ】ソウル郊外中学校訪問・交流、日本文化紹介
ホストファミリーと対面、ホームステイ開始

今日、ぼくは津寛中学に行きました。最初はカフェテリアで手をふったのをスタートに、韓国の生徒と交流をふかめていきました。まるでアイドルになった気分でした。手をふると「キヤー」という反応をしてもらうのがうれしかったです。また、よきせぬ交流チャンスがとうらいしたため、いろいろな人と写真をとったり、SNSのアドレスを交換して名前もおぼえてもらいました。

また、授業をみさせていただいたときも、ぼくをみて「マサキー」と覚えていてくれていてよんでくれました。うれしかったです。

(岡村 将希)

津寛中学校に行きました。韓国の中学校はどんななのか、生徒はどんな人達なのか、朝起きた時から不安でしたが、お昼ご飯の時、食堂に生徒が入ってきたら私たちに「こんにちは」、と笑顔で言ってきてくれたのが印象的でした。お昼休み中などにも私達が歩いているとあいさつしてくれたり、「はじめまして」など覚えた日本語をたくさん使ってくれました。また、私達が「アンニョン」と韓国語であいさつしてみるとビックリしてすごく笑顔で返してくれました。授業見学しておどろいたことは、黒板をあまり使わず、プロジェクターでスクリーンに写して授業を行っていたことです。数学の授業で外に出て行っていたことにもおどろきました。文化紹介も練習をあまりしていない中、成功することができてよかったです。日本の文化を知ってもらえてよかったです。

韓国人生徒によるギターとダンスもとてもかっこよかったです。韓国の中学生と交流することができてよかったです。

(福原 史慧有)

津寛中学校を訪問したが、驚くことばかりだった。生徒がメイクをしたり、髪を染めたりしているのが新鮮だったし、日本では考えられないことだなあ、と思いました。それに、生徒のみんなが私達を歓迎してくれて、とても気分がよく、生徒とも仲良くなることができました。韓国の人はとてもフレンドリーでたくさん話かけてくれたので、韓国についていろんなことを聞けたし、会話がはずんでとても楽しめました。また、私達のことを見るために窓から顔を出して「オンニー！」と声をかけてくれた人や、「キヤー」と叫びながら私達のことを追いかけてくる人もいて、とても印象的でした。

日本人に対して悪いイメージを持っていないか心配していたが、そんな心配はいらなかったほど優しく接してくれて、とても安心しました。

津寛中学校の職員の方も私達とコミュニケーションを取ろうとして下さって、

とてもうれしく思いました。日本語の先生は、日本に留学していた経験もあり、とても流暢な日本語で話していました。また、授業も見学させて頂いたが、どの先生もマイクを使って授業をしており、チョークもマジックのようなペンを使っていておもしろかった。黒板よりスクリーンを使うことの方が多く、日本とはちがう授業風景になっていました。

(川澤 ころろ)

10月6日は、韓国の津寛中学校に訪問し、ホームステイをさせてもらいました。ホームステイの子の名前は、イ・スンヒョンちゃんという子で同い年でした。最初はとても不安でしたが、私の勉強していた韓国語も通じて、とても優しくかったので安心しました。

学校を出たあと、一度家に戻ってからあかりのホームステイのジウオンちゃんと4人でソウルを歩きました。ずっと飲んでみたかったスムージーも、つれていってくれて飲むことができました。

また、MAGIC PHOTOという写真スタジオに行って、記念に写真を撮りました。地元の人しか知らないようなローカルなスポットに行けて嬉しかったです。

人生初の韓国、人生初のホームステイは内容濃いもとなり本当に楽しかったです。

(木南 奈々)

文化紹介が終わった後、バディの子に連れられ、バディの子の家に行きました。お母さんがむかえにきてくださり、車で家まで行きました。家につくと、バディのおばあちゃん、おじいちゃんがでむかえてくださいました。少しゆっくりした後、日本から持ってきたおみやげを渡しました。折り紙や、巾着、手ぬぐいなどをわたし、とても喜んでくれました。その後に、一緒に折り紙で風車と折りづるを作りました。バディの子はとても器用で私より上手につくっていました。その後、ミョンドウにいき、一緒に買い物をしたり、ドーナツをたべたりしました。家に戻ると、お母さんが夕食を用意をしてくださっていてブルコギやチャプチェなどをおいしくいただきました。その後、お風呂にはいり、バディの弟と風車で遊びました。11時半には、ふとんにはいって寝て、翌日は朝の7時におきました。朝ごはんを食べてから車で学校へおくってもらいました。ずっと英語で話すのはとても大変だったけど、コミュニケーションの大切さや、伝えようと思う気持ちの大切さを改めて知ることができ、良い経験になりました。

(木村 蓮杏)

◆2015年10月7日（水）【晴れ】 韓国学中央研究院、
国際交流基金ソウル日本文化センター訪問
韓国で活躍する日本人との懇談

韓国学中央研究院に朝行きました。ここでは、韓国が昔、どのように人を公務員として選んだのかを知ることができました。公務員になるには、まず試験を受けてその試験に合格しなければなりません。論文を書かせたり、儒教についてのものなどがあります。この試験は3年に1度しかなくて、試験を受ける人のうち33人ずつしか選ばれないため、とてもむずかしい試験となっていました。国がくばる教科書や参考資料を使って勉強をしました。試験当日は決められた長さの紙をもって、筆ももち試験を受けに行きます。その紙も指定されていて、しつがわるい紙をもっていくようめいじされていました。その理由が、貧しい人でも同じように同じじょうきょうで受けるようにするためでした。このように韓国では昔からいろんなことをして、これが文化になり、私はとてもすごいと思いました。韓国学中央研究院で朝鮮と日本の関係についても知ることができました。日本は昔来た朝鮮人からいろいろ学び中には朝鮮人である日本人もたくさんいることを知っておどろきました。韓国ととてもふかい関係をもっていると思いました。

（窪田 百合香 アマリア）

ぼくたちは、ソウル日本文化センターに行っているいろいろなことを学びました。ぼくたちは、日本のお茶のことを教わりました。まず、一つ目にぼくが学んだことは、お茶には、まずテーマを決める事です。今回のテーマは、一期一会です。一度一度を大切にするという意味です。これを聞いて、ぼくも、このメンバーで韓国に行くのは一度だけなので大切にしようと思いました。二つ目は、本物だから意味があることです。お茶の道具にかぎらず、なにごとにも本物を使う大切さを学びました。その後お茶をじっさいにたいけんした人がいました。たいけんした人だけではなく、全員が、お茶のきほんを学びました。また、茶道部に入っている、ゆづきさんがじっさいにお茶をたてていました。その後は、林先生にお茶の意味などをおしえていただきました。とてもよいけいけんになりました。

（熊谷 流気）

ソウル日本文化センターへ行って、茶道の体験を何人かした後、韓国で活躍する日本人の方々にお話をうかがいました。新聞記者や大学生の方までいらっしゃってとても驚きました。お話の中で韓国はやはり食べ物がおいしい、そして、世話をよくやいてくれるということを知りました。韓国の方は世話好きで

頼んでいないことまでやってくれるらしく、とても気遣いのできる人たちなんだな、と思いました。韓国の知らなかった一面をお話の中で知ることができ、とてもうれしかったです。私は韓国にとっても興味を持っていて、好きな国でもあったので、今回の研修を通してたくさん学べて本当によかったと思っています。是非自分でまた機会をつくって友達や親、兄弟などに韓国の魅力を伝えたいです。

(小森 彩香)

◆2015年10月8日(木)【晴れ】 華城・水源地域・KBS ドラマセンター見学
市内見学

朝食は6日と同じく、ホテルのバイキングでした。でも、6日の朝食よりもケーキなどが増えていたり少し違ったメニューでした。韓国へ来て4日目となり、みんな少し疲れた表情でした。私はあまり食欲がなく、ミートパスタとサラダとソーセージを少しずつ取って食べました。朝食のあと、バスにのって水原へ向かいました。途中、少し先で事故があり、道がものすごく混んでいました。なので、予定よりも時間が遅れてしまいました。水原について、私たちは水原華城を見学しました。私は体調が悪かったので、カフェの2階から、温かい柚茶を飲みながら華城を眺めていました。華城は見渡せるくらいの広さでした。草原が広がっていて、そよ風が吹いてとても良い天気でした。体調が悪くてあまり見学ができず、詳しいことが書けず残念です。いつかもう一度来たいと思います。

(篠原 朱里)

今日は主に3つのことをしました。

1つ目は水原見学です。水源地域散策では韓国の歴史がよく分かりました。韓国の昔の建物を見て僕は日本の昔の建物にはないものがたくさんあると思いました。韓国の古い建物にはたくさんのしきりがあり、いろいろ分かれていて日本は韓国の文化と似た所があるのは日本は韓国の文化を見て育っているからで、最初に団長が言っていたように韓国は日本のお兄さんだとあらためて分かりました。

2つ目は華城です。華城では上と同じように日本と似ていると思いましたが、日本と違うところやおもしろいところもありました。違うところは城の道が1直線になっており、その中でも真ん中は一番偉い人しか通れないというところですか。おもしろいところは水をためる場所があったのですが、それは火事の際に使うには少なすぎるので、疑問に思っていたのですが、それは火事にならないように祈るためのものだったということです。

3つ目は **KBS** ドラマ制作センターに行ったことです。ドラマが実さいに行われている所などの貴重な体験ができてとてもうれしかったです。

10月8日は主に水原にいましたが、水原はもしかしたら首都だったかもしれないというガイドさんの話を聞いて、私はすごくいい体験ができたなあと思いました。都市を順位づけするのもおかしいですが、水原はソウルに匹敵する都市だと思いました。

(清水 夏希)

◆2015年10月9日(金)【晴れ】 市内見学(歴史、文化)

今日は主に見学をした。景福宮、ソウルタワー、仁寺洞、青瓦台、光化門広場、南山、南山韓屋村など、様々な所をまわった。景福宮は、私が行きたいと思っていた所なので、楽しかったし、リ先生が昔のことを話してくれて、とてもためになる話が多かった。特に、王やその妃の部屋(屋敷)の見分け方に少し感動した。ソウルタワーは、山の上にあるため、その分高く見え、景色が一望できたので、とても気持ちがよかった。そして今日一番楽しかったのは、仁寺洞での買い物だ。バスで話していたように、浅草の仲見世通りのようで、予想以上の店数・品数・低価格でおどろきの連続だった。私は、韓国の伝統的な菓子を買った。これは津寛中学校の給食に出たもので、家族や友達に食べてほしいと思って購入した。実際、みんなが喜んでくれるといい。今回、より深く韓国のことを知れたとともに、韓国の良さも改めて実感することができたのでよかった。

(田中 愛恵)

◆2015年10月10日(土)【晴れのち曇】ホスト生徒とともにロッテワールド
民族博物館見学
ホストファミリーとのお別れ会
反省会

10月10日はホストファミリーの生徒とロッテワールドへ行きました。本来はエバーランドだったのですが雨が降る予定となっていたのでロッテワールドになりました。私はホストファミリーの生徒と私とあと2人とで、4人で回りましたが、比較的、日本、韓国の間だけで話が進むのではなく、4人で英語で話せたと思います。ホームステイから、約三日経っていたので少し緊張しましたが普通に話すことができました。ホストファミリーの生徒とは、このロッテワールドでさらに友情を深められたと私は思っています。乗り物はとても沢山あり、いくつか日本の乗り物に類似したものもありました。私たちは5つの乗り物に

乗りましたが、どれも楽しかったです。日本の遊園地よりもクオリティの高いものもありました。ホストファミリーの生徒とは、とても仲良くなれたし、その他のホストファミリーの生徒とも仲良くなれました。子どもたち（中学生）の間には日韓の複雑な関係も全く無く、また、ホストファミリーも皆、優しくして下さり本当に家族のように私に接して下さいました。

私たちは韓国の生徒とホームステイ等で仲良くなり、ロッテワールドを通じて更に仲良くなれたと思いました。

(田中 陽)

今日はホストファミリーと会いました。予定が変更されてエバーランドからロッテワールドになりました。

まず、ホストファミリーとバスでロッテワールドに行きました。久しぶりに会えたのでとてもうれしかったです。その後、彩香さんのホストファミリーと一緒に遊びました。外にあるジェットコースターに乗ろうと並んだけれど、途中から雨が降ってきてジェットコースターが止まってしまいました。そのため午前中は乗り物に乗ることができませんでした。しかし、食べ物を食べたり、たくさん話したりすることができたので楽しかったです。お昼を食べた後は室内にいました。一回転をするジェットコースターに初めて乗りました。とてもドキドキして心配だったけど、乗ってみたらとても楽しかったです。次にお化け屋敷のようなアトラクションに乗りました。時間が余ったのでバイキングに乗り集合場所に行きました。夕食はみんなで楽しく食べることができました。お別れする時はとても寂しかったけれど、すばらしい体験ができたと思います。

このプログラムに参加してとても良かったと思います。この経験を生かしてこれからの生活を送っていきたいです。

(松山 優月)

今日はホテルに津寛中学校の生徒が集合してロッテワールドに行きました。行きのバスの車内では、みんなバディと一緒に座り、話をしたり、互いの SNS 等を交換したりしました。ロッテワールドに着くと、バディだけでなく他の団員とそのバディとも一緒に行動しました。早速最初のアトラクションで待っている時に、英語で色々な事を話し合いました。やはり英語は大切なんだと感じました。その後も様々はアトラクションに乗ったり、一緒に写真をとったりと楽しい時間が続きました。アトラクションももちろん楽しいですが、韓国の子たちと一緒にいたあの時間が僕にとっては忘れられない最高の時間でした。

ロッテワールドから夕食会場に向かうとき、韓国の子や団員と一緒に音楽を聴きながら歌った人、面白いことをして笑いあったりしました。会場に着くとみんなホストファミリーと再会できて嬉しそうでした。夕食を食べている時に

自分がキムチを食べてすぐ水を飲むと韓国の子は笑っていました。ホストファミリーとホームステイの思い出を語ったり、絶対に再会すると約束している人もいました。夕食が終わり、ホストファミリーとお別れする時には正直、悲しかったですが、またいつか会おうと約束したのでそれを楽しみにもしました。是非、ホストファミリーや韓国で出会った友達を日本に招待し、また交流をしたいです。

(ベスト 海)

◆2015年10月11日(日)【晴れ】 韓国発、羽田空港到着、解団式

今日は最終日でした。朝食のとき、団員のみんなと会い、みんな元気そうでした。しかし、みんな寂しそうな悲しそうな顔をしていました。食事中の会話も「何時ごろ家につくか」や「どうやって家に帰るのか」などでした。

朝食が終わり、部屋に戻りました。部屋の友達とたわいのない話をして、最後の時間を過ごしました。

空港に向かうバスの中では、男子で談笑していました。話をしているときも「もう少しで終わりか」と思うと、寂しく感じました。空港に着き、出国手続きをしました。手続きのとき、担当の人に「韓国は楽しかったですか。また来て下さい」と言われました。最後まで韓国の方々の温かさを感じた研修でした。

日本に着き、解団式がありました。団長の話は、将来海外で活躍したい僕にとって心にとどめて置かなければならないものでした。最後に団員みんなで「ふるさと」を歌いました。津寛中学校で歌った曲で、歌いながら、中学校訪問とホームステイを思い出しました。中学校では、日本の中学校との差を知り、これからもっと勉強に励まなくてはと思いました。ホームステイでは、韓国と日本の常識の違いに困惑しながらも、楽しく過ごせました。そう思いながら歌いました。歌い終わり、解団式も終わりました。みんなからメールアドレスを聞き、別れました。これからは、SNSでのやりとりでの交流になりますが、絆を深めていきたいです。

今回の研修は、とても多くのことを学びました。韓国に対しては、あまり良い印象を持っていなかったのですが、研修を通して、韓国の方々の温かさを知り、韓国はとても良い国だと知ることができました。また、日本と韓国の差を知り、その差を縮められるように勉強していきたいと思いました。そして、将来日本と韓国のかけ橋になれるようになりたいです。最後になりましたが、今回の研修に関わった方々ありがとうございました。

(山口 惇己)

私はこの中学生韓国派遣事業に参加できたことをとても嬉しく思います。短い間ではありましたが、他の団員の皆さんと一緒に過ごしたことは、私の心の中に強く残っています。ですから今日解団してしまうのは少し寂しく思いました。まだ団員全員と話すことはできていなかったので心残りがあったのかも知れません。

式の途中で、山本団長が、この事業の報告をしました。韓国の学校で文化紹介をしたこと、ホームステイをしたことや各所を巡ったことが、次々とよみがえってきました。一週間ほどの間に私は多くの貴重な体験をしたのだと実感しました。最後に団長が、今回は大変だったと語ったとき、私はいまさらながらに私の周囲の人の支えのおかげで実現した体験であったのだと感じました。団長だけでなく西木先生や現地のガイドさん、及川さんや IFA の方々など、感謝しなくてはならない人がたくさんいるのです。

報告をしたのは団長だけではなく、団員の中からも 2 名いました。団長の時もそうでしたが、そんな風に思っていたのか、という新しい発見のようなものが、2 人の報告の中にはありました。一緒に過ごしてはいましたが、人それぞれ感じ方やとらえ方が違うのだと改めて実感しました。

団長と 1 人ずつ握手した際に、多くの感謝の意を込めてみましたが、すべて伝わったのかどうかは疑問です。感じ方やとらえ方は人それぞれですから。

最後に保護者の皆様の方に向かって、文化紹介でも歌った「ふるさと」を届けました。私としてはこの歌にも感謝を、こんどはこの事業に関わった人々全員に対して送ったつもりです。解団式は無事終了致しました。

(山崎 彩香)

V. 感想文

中学生交流プログラムに参加して

新潟県・新潟大学教育学部附属長岡中学校 1年
五十嵐 亜子

私が今回のプログラムに参加する目的は二つありました。

一つ目は日本と韓国の文化の違いを知ることです。食事の作法や生活習慣などホームステイを通じて知ることができました。食事では食器を持って食べてはいけないなど日本とは逆の作法でとまどいましたが、他の部分では日本と似ていることが多く親近感がわきました。また、文化紹介をしたときには韓国の生徒のみなさんが日本の文化にとっても興味をもってくれました。私はそろばんを紹介しました。日本の文化がうまく伝わって良かったです。

二つ目は韓国の中学校について知ることです。韓国の中学校は日本の中学校に比べて、子どもたちに色々なことを任せていてとても自由な雰囲気がありました。また、部活動では日本みたいに活発ではないと感じました。日本の中学校とは違う部分が多くてとても驚きました。

今回の訪問ではホームステイも経験することができ、ホームステイ先の友人とも仲良くなることができました。彼女は日本に来たことがなく、行きたいと話していたので今度は日本で会いたいと思います。

今回の訪問で一部ではありますが日本の文化を韓国の同世代の人たちに伝えることができ、また韓国の友人ができたことがとてもうれしく今後も交流を続けていきたいです。

最後に引率してくれた、山本団長と西木先生、今回のプログラムを企画してくれた、国際フレンドシップ協会のみなさんに感謝します。ありがとうございました。

中学生交流プログラムに参加して

東京都・早稲田中学校 3年
石塚 慧人

日本と韓国は現在緊張状態にあります。隣国といえども言葉も違えば生活も違う。問題を解決するのはとても難しいと思います。けれど日本と韓国は切っても切れない大切なパートナーでもあります。さまざまな問題を解決して友好

関係を築く必要があると思います。なので今回の研修に参加し、自分が知らなかった韓国のよさを、周りの人々に伝えることができれば、いいと思っています。今回、僕が研修で一番印象に残っているのは、津寛中学校の訪問とホームステイです。生徒のみなさんは僕たちを歓迎してくれました。日本文化紹介の時はみんな盛り上がってくれて、とても嬉しかったです。ホームステイでは家族全員でもてなしてくれました。韓国の家庭で一泊させたことは貴重な体験になりました。

僕は今回の研修でたくさんの韓国人の友達ができました。この交流がずっと続き、韓国との友好関係が広がればいいと思いました。

中学生交流プログラムに参加して

静岡県・加藤学園暁秀中学校 3年
岡村 将希

今回、初めて韓国に行って僕はいろいろな体験をしてきました。僕の中では、韓国は領土問題などで対立していてあまりいい印象はなかったのですが、実際に現地に行って印象が変わりました。ネガティブなイメージからポジティブに。きっかけとなったプログラムは、学校訪問とホームステイでした。津寛中学校にお邪魔して文化交流、授業見学などをしました。ホームステイでは、バディと盛りだくさんな一日でした。このような一日をすごして感じたことは、僕の周りにいた韓国人達全員が優しく、親切にしてくれたことです。韓国に行って学んだことをありのまま伝え、最大限生かしたいと思います。最後に、今回韓国と一緒にいったみんな、引率の先生方、そして派遣事業を企画してくださった国際フレンドシップ協会の皆様に“ありがとうございました”と伝えさせていただきます。

中学生交流プログラムに参加して

東京都・荒川区立原中学校 3年
川澤 ころ

今回の研修に参加して感じたこと、ものすごくたくさんありましたが、特に大切だと感じたことは「コミュニケーション能力」についてです。行く前からコミュニケーションに関しては自分で準備したり、勉強していたのですが、い

ざ話してみるとなると、想像以上に言葉が出てこなくてとても焦りました。今まで生きていて、言葉ができなくて困るという経験をしたことがなかったので、より今回の研修でコミュニケーション能力の大切さに気づかされました。それと同時に、言葉が通じなくても伝えようとする「気持ち」も大切なのだと学びました。何事にも気持ちが入っていなければやる気も出ないし、今回の研修で足りていなかった「積極性」もなくなってしまうので、気持ちで行動しようと思うようになりました。また、ホストファミリーをはじめとする私達が関わった全ての人がとても親切で、温かく迎えてくれたことが一番うれしい出来事でした。とても楽しかったです。

中学生交流プログラムに参加して

埼玉県・浦和ルーテル学院中学校 3年
木南 奈々

今回の韓国研修では、ニュースや新聞で見たり聞いたりする韓国のイメージとは違うということを感じました。韓国の人には本当に心優しく迎えてくださり、特にホストファミリーの人たちには良くしていただきました。ご飯も夕食、朝食とサムギョプサル、プルコギを作ってもらって、放課後にはソウルの町で写真スタジオに入り記念に写真を撮りました。

中学校の人たちは、「こんにちは」と知っている日本語を使ってたくさん話しかけてくれて、親近感が湧きました。私は韓国語を勉強していたので、韓国語を使って会話をすることができたのは本当に嬉しかったです。

今回できた韓国人の友達と、次に韓国にいったときにまた会いたいと思いました。

中学生交流プログラムに参加して

東京都・東村山市立東村山第四中学校 2年
木村 蓮杏

私がこの韓国派遣事業で学んだことは、コミュニケーションをとることの大切さ、大変さです。初めて海外へ行きなにも分からないまま自分と違う言葉で話す人達と交流しなければならない。とても不安でした。しかしホームステイや中学校訪問などをし、実際に交流してみて、伝えようと思う気持ちがあれば、

言葉が通じなくてもコミュニケーションをとることができると分かりました。言葉が通じないままコミュニケーションをとることはとても大変だったけど、伝えようとする気持ちをしっかりと持ち、行動にうつせば、伝えることができる。それを実感しました。逆に伝えようとする気持ちをもたなければ、伝えることができないことも分かりました。だから私はこの韓国派遣事業を通して学んだ、伝えようとする気持ちがあれば言葉は通じなくても伝えることができるということを大切にして、将来外国へ行った時や、日本で外国人に会った時などに役立てていきたいと思います。

中学生交流プログラムに参加して

静岡県・加藤学園暁秀中学校 3年
窪田 百合香 アマリア

この事業へ行きたかった理由はもっと人の価値観を尊重し多様な視点で物事をみることでした。そして韓国の人と友達になり、日本の文化を一つ教えることです。私はこの事業で自分の目標を達成することができました。どうしてそう思ったかと言うと、日本へ帰って学校の友達に久しぶりに会ったら「ゆりか変わったね」と言われたからです。どこが、と聞くと友達はやべるとなったと答えました。自分で振り返ってみた結果、私は積極的にものを言うようになったと思います。この事業で一番うれしかったことは、韓国で私は歌いたかったカエルの歌を韓国の生徒と一緒に歌うことができたことです。カエルの歌を歌えたのは先生がアドバイスをしてくれ、みんなも一緒に歌を歌って、韓国の生徒も参加をしてくれたからです。そのことに私はとても感謝をしています。韓国の印象がすごく変わった気がしました。とてもいい経験をありがとうございます。これからは、団長が言った10人に1人しかいないような人間になれるよう私は海外でも頑張っていきたいと思います。

The reason I wanted to go to Korea was to be an open minded person. My other reason was also to be friend with the Korean students and teach one Japanese culture to them. I think I achieved my goal because when I came back to Japan, my friends told me that I've changed. I asked them how'd I changed and they said you speak more. Therefore, I think I've become more active person. The most delighted event was that I could sing the song with the Korean students is because the teacher gave me advices, my friends helped me sing the song and the Korean students also tried to sing too. Thank you for all of this beautiful experience. From now, I would like to be

a successful person, like Dancho said, try my best at foreign country too.

中学生交流プログラムに参加して

東京都・荒川区立原中学校 1年
熊谷 流気

ぼくは、今回の韓国派遣で学んだことが沢山あります。
まず、一つ目は、韓国の方々の方がです。すごく日本人にやさしいです。また、知らない人からも声をかけられたりするほど、とてもフレンドリーです。
二つ目は、韓国の食文化です。ぼくがからくて食べられない物を韓国の中学生は、ぺろりと食べてしまうので、すごくおどろきました。
三つ目は、韓国の技術です。ドラマセンターで見たリアルな人形の技術には、特におどろきました。
そのほかにも色々なことを学びました。また、韓国のことに限らず、本物の大切さや、気を使うことなどの大切さを学びました。ぼくは、この韓国はけんは、自分にとってとても、良い経験になりました。団長を始めとした、国際フレンドシップ協会のみなさん、ぼくたちをささえてくださった韓国の方々、本当にありがとうございました。

韓国研修に参加して

神奈川県・香蘭女学校中等科 3年
小森 彩香

この研修に参加できて本当によかったです。この研修は、小学校時代の友達に教えてもらい応募することができました。私は以前から韓国の食生活に興味をもって本場の料理を食べてみたいと思っていました。初めは同じ学校の人もいなかったの、きちんとなじむことができるのか不安でしたが皆やさしくて面白かったので楽しく韓国で7日間過ごすことができました。
韓国では市内を見学したり、津寛中学校へ行って学校見学、日本の文化紹介、水原など歴史的な建物を見に行ったりしました。テレビで見るのとは違い、やはり迫力があり感動しました。文化紹介では、津寛中学校の子に歌の紹介をしたり、私は盆踊りを紹介しました。別の国の人に自分の国の文化を紹介する機会なんてめったにないのでとても緊張しましたが、貴重な経験ができてよかつ

たです。これらの中で私が一番印象に残っているのはホストファミリーの方々
と過したことです。私は韓国語を話すことができなかったので片言でしたが英
語で話しました。ホストファミリーの子と友達の何人かでトッポッキを食べた
り大きなかき氷を食べたりしてとても楽しかったです。夕食はホストファミリ
ーのお母さんが韓国の有名な料理を色々作って下さって、私は韓国料理が好き
なので沢山食べてしまいました。ホームステイは一日でしたが、数日後にまた
会い、ロッテワールドという遊園地に行きました。最後お別れする時はとても
悲しかったけれど、連絡先を交換したので今でも連絡をとっています。また韓
国に行って是非会いたいと思っているし、彼女が日本に来ることがあったら日
本のことを教えてあげたいです。

この今回の研修でこのようなめったに経験することのできないことを沢山の
きて勉強になりました。また機会があったら是非参加したいと思っています。

韓国に行って思ったこと

山梨県・山梨学院大学附属中学校 3年
篠原 朱里

私は韓国に行く前、韓国にどんな特徴があるのか、韓国料理は何があるのか、
など知らないことばかりで、またそこまで興味があるわけではありませんでした。
でも実際に行ってみて、考え方がものすごく変わりました。考え方が変わる
一番のきっかけはやはり韓国にできた友達です。韓国の友達はたくさん話し
かけてくれて、たくさんのことを教えてくれました。食べ物のことや学校生活
のことなど、色々話しているうちに、もっと韓国について知りたいと思う気持
ちが生まれてきました。また今回特に、韓国語を話せるようになりたいと思
いました。街中に書かれている言葉、ホストファミリーが話している内容、テレ
ビの内容などが分かるようになれば、もっと韓国のことが分かるのにとと思い
ました。今回のプログラムをきっかけに、これからも韓国の人との交流を長く続
けて、もっと日韓関係を好転させていきたいです。そしてこの経験を永遠の思
い出にしたいと思います。

中学生交流プログラムに参加して

千葉県・清真学園中学校 2年
清水 夏希

僕が、この韓国研修で印象に残ったことは二つあります。一つ目はキムチのことです。韓国に行く前には、キムチは少し辛いくらいで食べられるだろうと思っていました。実際に食べてみるとすごく辛くて、一かけら食べるのも大変でした。けれども日程が進むにつれてだんだん慣れて、おいしく感じてきました。また食べてみたいです。

二つ目は、ホームステイのことです。僕はあまり英語がうまく話せませんでした。ステイ先の家族は、ゆっくり話してくれたり自分にもわかる簡単な内容の英語にしてくれたりと、とても親切でした。また、ステイ先の中学生とその友達とで焼肉屋に行ったり登山したりしました。翌朝は中学校と一緒に登校して、朝早くから運動場でサッカーをしたことが特に楽しく、印象に残っています。

せっかく仲良くなったみんなと別れるのはつらかったけれど、これからも連絡を取り合って交流を続けていきたいです。

中学生交流プログラムに参加して

東京都・東京都立白鷗高等学校附属中学校 2年
田中 愛恵

私にとってこの交流事業は日韓関係を考え直す良い機会だった。

派遣される前は、なんとなく韓国は怖そうだな、と思っていた。それは、テレビなどで報じられているまま、うのみにしていた結果である。つまり本当の韓国について何一つも分かっていなかったのだ。

しかし実際行ってみると、韓国の行く先々皆が自分達を温かく迎えて下さった。怖いという印象を持っていた自分が恥ずかしくなるくらい皆優しく接して下さったのである。

報道だけをただ信じ、その事を事実と受けとめるのではなく、そのことを踏まえた上で実際に行って体験すべき事が、いかに大事かを、今回韓国に行ってもよく分かった。今回一緒に派遣された18人は、小さな力ではあるけれど、そのまわりの人にこの思いを伝え、どんどん広がっていき、日韓友好関係がもっと広がってほしいと願っている。今回は本当にありがとうございました。

中学生交流プログラムに参加して

神奈川県・カリタス女子中学高等学校 3年
田中 陽

私は今回韓国に行き、実際に色々な方と交流したことで、韓国のイメージががらりと変わりました。以前は政治の面などで少し怖いイメージがありました。そのため、韓国の方々に対してもそんなイメージがあり日本人のことは嫌いなのかと思っていて正直、韓国行きが決定してから少し不安でした。ですが実際に行ってみると学校の先生や生徒、ホームステイ先の家族の方など、色々な方に優しくしていただき本当はとても優しい方々なのだと分かりました。ホームステイ先では家族の皆さんが日本語を少ししゃべって下さったり色々な場所につれて行ってもらえて、本当に良くしていただき心があたたまりました。

日韓関係が悪化していてマスメディアなどによりお互い良い印象が少ないですが、韓国の方々はとても優しく良い方ばかりでした。このことを私は沢山のの人に伝え、韓国に良い印象を持ってもらいたいです。これから少しでも日韓関係が良くなることを願っています。

中学生交流プログラムに参加して

神奈川県・カリタス女子中学高等学校 3年
福原 史慧有

今回「中学生韓国派遣事業」に参加してみて、たくさんの経験をする事ができました。その中でも大きく2つのことが印象に残っています。

一つ目は、日本と韓国のちがいについてです。日本と韓国は同じアジアの国で、顔や文化など似ているところが結構ありました。でも、ご飯を食べる時はお茶碗を持たないことや車道が右側通行だったり、違うところがたくさんありました。違いをたくさん見つけることができよかったです。

二つ目はホームステイの事です。初めてのホームステイの方々がとても自然に迎え入れて下さったので、私も自然と緊張がなくなりました。韓国の家庭料理も食べることができてよかったです。ホームステイをして感じたことは、英語力をもっと伸ばしたいなということです。私のバディの子は英語がペラペラで私もがんばって話してはいたけれど伝わらない時や聞きとれないことが多かったです。もちろん、英語ができなくても仲良くはなれました。でももっと英語ができたらもっと仲良くなれたかなとも思います。なのでこれから英語の

勉強を頑張りたいです。

韓国での経験は一生忘れないし、この経験を生かしているいろいろなことに挑戦していきたいです。また、一緒に行った18人がとても仲良くなることができてよかったです。

韓国で経験したこと

東京都・練馬区立大泉第二中学校 2年
ベスト 海

僕がこの事業に応募した目的として二つ挙げられるのが、現地の中学生と交流できることと、ホームステイができるという、韓国旅行では体験できないことがこの事業では経験できるからでした。中学校を訪問する際の行きのバスではとても緊張していました。自分もうまく交流ができるか、友達を作れるか不安だったからです。自由交流の際にあまり自分から積極的に話しかけることができませんでしたが、現地の子が話しかけてきてくれたので緊張はほぐれました。他にも空手やけん玉等の日本文化を紹介したり、現地の子がギターやダンスを披露したりしました。ホームステイでは韓国の典型的な家に泊まる事ができ、韓国人の生活を知る事が出来ました。韓国を出発する前日には現地の中学生と日本の中学生とロッテワールドに行き、そこでは中学校を訪問したときに比べてより交流することが出来ました。そこでも経験は忘れられない思い出です。

僕の目標は、韓国に友達を作ることと、もっと韓国を知ることです。友達を作れることは達成でき、訪韓前に比べて韓国についての知識も増えたと思います。今後もホストファミリーや作った友達とSNS等を使って連絡を取りたいです。

また、僕が韓国に会いに行き、現地で出会った人々が日本に来る日がくることを願っています。

中学生交流プログラムに参加して

北海道・双葉中学校 1年
松山 優月

私は、研修の前と今とで韓国のイメージが大きく変わりました。韓国の人は

日本人に対して冷たいイメージがありました。しかし、私が訪れた中学校の人たちはとても明るく、私にあわせて日本語で話してくれました。市内研修の時も韓国の方は、私にあわせて日本語を使ってくれました。私は次に韓国に行く時、韓国語をできるだけ話せるようにしたいです。そして、お世話になった方々と再会したいと思っています。また、今回、私は韓国でお茶を点てる経験をさせていただきました。とても緊張しましたが、日本の伝統文化を披露することは自分が日本の代表として交流するということだと思いました。これから日本の文化をもっと深く勉強し、韓国の文化も勉強したいと思います。

今回、このプログラムに参加することができ貴重な体験ができました。ありがとうございました。

韓国で一週間を過ごして

東京都・目黒区立目黒中央中学校 3年
山口 惇己

初めて韓国に行きました。行く前は、韓国の方は反日感情があり、日本人に対して快く思っていないと思っていました。しかし、実際は韓国の方は違いました。

韓国のお宅にホームステイをしたとき、ホームステイ先の御両親は、温かく迎えて下さいました。また、ホームステイ先の友達も僕たちが、楽しく過ごせるように工夫してくれました。そのおかげでとても楽しい一日を過ごすことができました。また、ホームステイ先の友達の学校の教科書をみると、とても高度なこともあり、もっと勉強しなくてはと思いました。

これからは、韓国の友達とはSNSでのやりとりが多くなりますが、仲良くしていきたいです。また、ライバルが海の向こうにいることを思って、勉強にも励んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。

中学生交流プログラムに参加して

神奈川県・カリタス女子中学高等学校 3年
山崎 彩香

父が祖父の仕事の関係でソウルに住んでいたことがあると知ったときから、私は韓国に興味があった。だから学校で派遣事業の存在を知ったとき、すぐに

参加したいと思った。

おかげで私は多くのものを得ることができた。韓国の文化や歴史についての知識だけではない。韓国を訪れたことなどの経験は、実際に現地に行かなければ知ることはできなかつたはずだ。

また、私は得るだけでなく与えることもできたと思っている。文化紹介で私達が伝えた日本に彼らが興味を持ってくれたと思うのが、私の思い込みでないことを願いたい。

さらに、帰国後私の中の何かが変わったような気がする。韓国に対する認識が変わったのはもちろんのこと、出会いというものの大切さを再認識することができたと思う。韓国で経験した多くの出会いは一度きりだが、私にとって貴重なものであることに変わりはない。

本事業にご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

(順不同、敬称省略)

韓国

在韓日本国大使館 公報文化院副院長・一等書記官 宮田起三弘

同専門調査員 高橋建吉

津寛中學校 校長 李元午

同副校長 李新美

同人文学社会部 日本語講師 イスンヨン

同人文学社会部 日本語教師 安智勲

ソウル国際教育財団 理事 陳重夏

韓国学中央研究院 企画処長 朴東俊

同対外協力チーム長 姜文宗

嘉泉大學校教授 関根英行

国際交流基金ソウル日本文化センター所長 山崎宏樹

同副所長 栗山政幸

同日本語・日本研究部 日本語教育アドバイザー・主任 林敏夫

同日本語・日本研究部 日本語教育アドバイザー 小川靖子

同日本語・日本研究部 日本語教育アドバイザー 柿内良太

同日本語講師 三宅絵梨

日本人留学生 蓮田なつみ

讀賣新聞 支局長 豊浦潤一

同特派員 宮崎健雄

共同通信 記者 長尾一史

株式会社コネスト コンテンツチーム 次長 大國徳子

H.I.S.ソウル支店国際観光部 次長 立石寛征

ソウルガイド コ・ギョンスン

ソウルガイド イ・ジェグァン

HOTEL CROWN Itaewon/Roomspart Manager Lee, Youngdeok

日本

公益財団法人国際文化フォーラム 事務局長 水口景子

株式会社H.I.S. 公務法人営業所 所長 川上雅樹

株式会社H.I.S. 公務法人営業所 茅原稔枝

羽田エクセルホテル東急 販売促進チーフ 諏訪典明

JENESYS2.0「中学生韓国派遣事業」

平成27年12月1日

企画・実施運営 一般社団法人国際フレンドシップ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台 3-4-12 麻布台ロイヤルプラザ 703

実施責任者 及川 伊佐子

電話 03(3582)3021 FAX 03(3582)3010

Web: <http://www.ifa-japan.org>